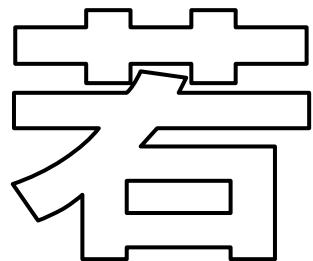
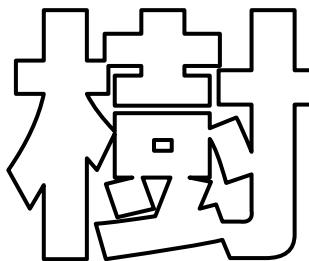


W A K A



G I



校訓：伸びていく 教育目標：自立力・社会力

第7号



夕暮れ

杉並区立東田中学校

東京都杉並区成田東3-19-17

電話：03-3313-1461 FAX：03-3313-4704

主体性ということ

校長 小松崎 浩

新しい年、平成30年、2018年を迎えてスタートした平成29年度第3学期も、早いもので後半へとさしかかってきました。平成29年度のまとめとなる今学期も、時間に流されることなく、足もとをしっかりと見つめて、今、人生のどのような位置に立っているのかを考え、時を刻んでいくつほしいと思います。

さて、お正月に新聞を読んでいると、何校かの大学の学長の方々が、自分の学校をPRしている紙面がありました。それは、「我が大学はこういう学生を求める」「我が大学ではこのように学生を育てます」と、いうものです。このことは、大学を卒業して就職する場合に企業がどのような人材を求めているかということと、深いつながりがあるわけです。先行き不透明といわれている今の世の中、企業が新しい社員を採用するときに重視するものは何でしょうか。企業の85%ほどが、まず、第一にあげるのは、「主体性」をもった人材だそうです。大学の学長の方々のPRでも、ほぼ共通していたキーワードは、「グローバル、世界的な視野をもつ学生」と、「主体的に学ぶ学生」という言葉でした。ところで、「主体性」、よく耳にする言葉ですが、それはどのようなものでしょうか。主体性の主体とは自分自身です。自分というものについて社会(集団)という観点をもって自分自身を見つめる、それは自分を第三者的に見る目をもつことといえるでしょう。この「主体性」という言葉に対してのいろいろな考えはあると思いますが、私は、「周りの環境に対応していくことをとおして、自らを高めていく性質」と考えています。つまり、自分の置かれている状況をしっかりと把握して、今、何に、どのように取り組めばいいのかを考えて行動できることです。また、それは今取り組んでいることが、将来どのように自分のために役立っていくかを考える姿勢ともいえ

ます。そのことを身に付けるためには、土台として、自分の良い所と、これから身に付けなければならぬ課題となる所とをしっかりと自覚することが必要です。また、主体性には周り(客体)に対する自らの責任も伴います。ですから、周りのことを考えず、ただ単に自分勝手にものごとを進めていくことは主体性ではありません。つまり、そこには、社会の一員としての意識をもった上で自立をしていくことの力が求められているわけです。東田中学校の教育目標は、将来社会人となった時の姿(ビジョン)を想定してつくられたものであるということを理解していただけたと思います。このことを逆の方向から考えていくと、東田中学校の教育目標である「自立力・社会力」を身に付けるためには、精神的な面での土台の一つとして、「主体性」がとても大切であり、そのことがないと、教育目標を自分に置き換えて具体化していくことはできないということが、分かると思います。

第3学期は、平成29年度のしめくくりの学期です。日常の生活面や、学習面。また、行事などへの取り組みをとおして、自分からという意識をもって、さらに、「主体性」を身に付けていってください。その未来への継続が、自分自身を成長させることにつながっていくのです。そして、生徒の主体性の集合体として、東田中学校を、地域社会の中でも、「主体性をもった存在」にしていきたいものです。



朝もやの中の、雪のグランド 善福寺川側

1月27日(土) ICT活用授業公開と
オリンピック・パラリンピック教育:1学年「環境」・2学年「伝統文化」・3学年「障がい者理解」

お忙しい中ご参観いただきありがとうございました。

1学年講師・協力

太陽光発電ネットワーク

東京地域交流会 田中 稔 様

杉並エネルギー会議

杉並地域エネルギー協議会代表 西田 穂 様

杉並区環境活動推進センター

所長 高橋 澄人様

のご協力で、環境についての授業を行いました。

<生徒の感想から>

○「地球温暖化」はたくさんニュースなどで聞いていたが、ここまで深刻な問題だとは思いませんでした。普段から「地球温暖化」のことを考えて過ごしていきたいです。

○電気をどう使うか、省エネするかを少し変えるだけでこれからの生活や地球に影響してくるということが分かりました。自分でできることがあれば取り組もうと思います。



3学年講師 視覚障害者支援総合センター
三好 明子 様

杉並ボランティアセンター所長

黒澤 貴子 様

2名の方においでいただきました。

病気により視力を失った三好さんから「雪の時は困る」とのお話に、自分たちでさえ苦労するのに、大変な思いをイメージできたようです。また、実際に手をお貸しする方法などのお話も大変参考になりました。今後実践できることが目標です。

2学年講師 観世流シテ方能楽師 永島 充 様

独特な発声と面のもつ表情を間近に見せていただき貴重な時間となりました。

<生徒の感想から>

○「能」を社会の授業やビデオで見たことがあつたけれど、実際に歌ってくれたのを聞いたら、どこからこんなに響く声がでるのだろうと圧巻だった。楽譜も初めて見た。抑揚が難しくてまねて歌ってみたけれど堂々とした声は出せなかった。歴史も丁寧に教えてください、伝え継がれてきた「初心を忘るべからず」は私たちの使っている意味と少し違っていたが「なるほど」と納得した。お面も実際に見せていただいて、笑っても怒ってもない表情が不思議な気持ちにさせられました。つけると周りも見えないというのに、ずっとつけて踊るなんて大変そうすごいなと感じた。今度は実際に「能」を見てみたいと思った。 K.R

○「お面が怖い」「能って何」とそんなことを、授業を受ける前は思っていました。「能」は六百五十年前から始まった日本の伝統芸能です。しゃべる言葉はあまり分かりませんが、怖いお面にはいろいろな工夫があり驚きました。これからも授業を通してこんな自国の伝統文化を知り、外国人の人伝えたり外国の文化を学んだりしたいと思いました。 K.N



小中連携（杉並第二小・東田小・東田中）

地域清掃と交流会 12月9日（土）

東田小1年～5年生児童と東田中1年生は東田小校内美化活動と五日市街道通り沿いのゴミ拾い。

杉二小、東田小6年生児童と東田中2年生は善福寺川公園付近の落ち葉集めやゴミ拾いの清掃活動。

杉二小6年児童と東田中3年生は東田中校舎周りの清掃活動を行いました。

清掃活動後、本校校庭で小学校6年生児童と本校生徒の交流会を実施しました。



図書館交流会 12月26日（火）

杉二小、東田小児童28名。東田中生徒ボランティア13名が参加し、学校司書によるブックトーク、ミステリーツアー等のゲームやエコバッグ作りを行いました。ボランティアの中学生が優しくリードしていました。この交流会は学校支援本部の皆様のご協力で毎年行われています。



図書館見学会 2月1・2日（木・金）と 授業見学 2月13日16日

卒業まで1か月あまり、忙しい合間に2校の6年生児童が本校図書館の見学と普段の授業を見学に来校しました。生徒会長さんからの話の後には勉強についての質問もありました。

中学生になると読書時間が減ってしまいます。部活動や習い事の時間が増えることが一つの理由ですが、どんなにICTが進んでも読書の大切さは変わりません。せっかくの読書の習慣を継続してほしいと思います。



《学校運営協議会からのお知らせ》

<第4回学校運営協議会>

平成30年1月12日（土）14:00～ 第二会議室にて 内容：今後の活動について。

<第5回学校運営協議会>

平成30年2月10日（土）16:00～ 第二会議室にて 内容：平成30年度教育課程、学校評価。

<第6回学校運営協議会>

平成30年3月10日（土）17:00～ 第二会議室にて 学校運営協議会は傍聴できます。

お詫びと訂正

『若樹第6号』の杉並区中学生駅伝大会の記事で女子選手宣誓は本校「3年佐藤さん」でしたが、名前が間違えて載っていました。大変申し訳ありませんでした。ここで訂正させていただきます。